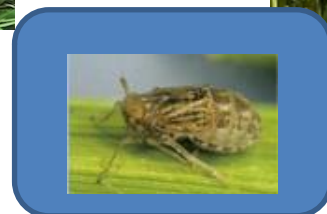


秋ウンカ警報

8月31日（月）に伊豆の国管内において、秋ウンカが原因で発生する『坪枯れ症状』が確認されました。

県内でも磐田市、菊川市、島田市、清水町でも秋ウンカによる坪枯れ症状の被害が確認されています。

坪枯れ症状は秋ウンカが株元で増殖する事で発生します。隣の圃場に出ていなくても、圃場の一部で虫が少なくても、どの圃場でも発生する可能性があります。最大限の注意と早期防除を行って下さい。



☆坪枯れ症状が見えた圃場

- ①枯れた箇所を刈り取る。 ⇒枯れた株は倒れやすく、株元への薬剤散布を阻害します。
- ②発生圃場の薬剤散布。 ⇒発生量が多いので、株元に薬剤がかかるように圃場全体を防除。
- ③1週間後を目安に被害の拡大を確認。 ⇒ 発生数の増加が見られる場合は、再度株元に薬剤散布。

対処薬剤：トレボン粉剤 DL, スタークル顆粒水溶剤、等の直接当てる薬剤で徹底防除。

☆現在、坪枯れ症状が見えない圃場

本年は昨年以上にウンカの発生量が多い事を考慮し、薬剤防除を行った圃場でも今後の発生量に注意しましょう。

粉剤の薬剤散布のポイント！

- ①風の無い日を狙って散布！
- ②出来るだけ早朝に散布！ ※日中は気温が高く上昇気流で薬剤が舞いやすい。
- ③株元に当たるように散布！ ※ナイアガラは薬剤が舞いやすく、株元に当てるのが難しい。

※散布機（ミスト）は農業共済から各部農会に貸与されています。

※周辺にハウスがある圃場は薬剤散布前に声かけの配慮をお願いします。薬剤により施設園芸での花粉交配用のハチが死滅・飛ばなくなる事があります。